

モネと同じ世界見れるね

大切な友人

二年前、ある美術館の展覧会にモネの絵を見に行った。初めて行く美術館だから最寄駅も何も知らなくて、二人で右往左往しながら美術館の最寄駅に着いた時、私はバッグが少し軽いことに気づいた。「やば、眼鏡忘れた」眼鏡がない。いつも眼鏡ケースを入れているスペースにはハンカチが頼りなく収まっているだけ。目が悪い私は眼鏡がないとぼやけて見える。あーあ、何やってんだろ私。そんな時、友人がなんてことないように言ったのがこの言葉だった。「つてことは私、モネじゃん！」眼鏡を忘れたぐらいで落ち込んでいたのがバカみたい。もちろん絵はぼやけて何がなんだかわからなかった。

受賞にあたって

友達がこの言葉を言った理由がモネの作品の印象からなのか、モネが晩年に視力が低下したことによるのか理由を聞いていないのでこの言葉の意味についてはあえて書きませんでした。絵は描くのも好きで絵の道へ進もうと考えたこともあります。友達の絵を見て上には上がいると諦めました。実は小説を読むのも書くのも好きで毎日書いています。応募して奨励賞を受賞したこともあります。将来は小説家になりたいですが、心理学にも興味があるので、小説の執筆と勉強を並行して心理カウンセラーも目指しています。